

編輯室の内外

▽前月號と本號との刊行は何れも豫定の期日より遅れた、何分にも本會と有無相通じてゐると云ふと大袈裟だが、時恰も帝國議會の最中で路政の爲に畫策を餘義なくされ、心ならずも遅延した譯、併しながら登載した記事は此種雜誌中面目を異にしてゐる筈、之で御勘辨を願ひたいものだ。

▽何かと文句を立ててゐる間に帝國議會も會期の半ばを過ぎた、内閣不信任の聲も聞かなければ議會解散の話も耳にせず無事に終了するらしい、内閣側から言はしむれば所謂舉國一致の勢であろう、政黨側からすれば自重時代の反映であろう、國民側から言はしむれば××恐怖の現れであろう、夫れにしても兎に角平穩裡に閉會する想だ、政府と火花を散らして論戰する議會が、憲政上望ましいとすれば、此上もない事であるが、政見を異にして居ながらも堂々人をして感歎せしむるやうな意見の一つも吐かずに、熱柿主義で政權來を待つて居るのであるから大政黨も多數黨の價値もあつたものでない、失張り國民は夫等の連中

に政權を渡したくない、だから現内閣の運命は夫等政黨が改革されるまで永續するものと評價して諷が無いであろう。

▽萬國道路會議に提出する我國道路問題の調査も、お蔭で着々進捗してゐる、併し其の資料は何と言つても地方の提供に俟たなければならぬ、産振と言ひ農振と言ひ、近年稀に見る多忙時期に色々な資料の提供をお願するは恐縮ではあるが、輓近異常の發達をした帝國の路政を世界の各國に紹介したい野心と。我國道路工學の進歩を披露したい微意に外ならない、國際聯盟で世界の各國から注視された我が國が更に特異の路政を發表して各國を指導するのも痛快事である、どうか本會の世界的野心を諒とされ、お願した資料は早く提供して貰ひたい。

▽政府の八年度豫算に表はれた道路事業の概要は、前號に於て武井内務省道路課長が説述された通りであつて、道路工事に投ずる費用の額は治水港灣工事の夫れに比して著しく多いのは當然のことである、即ち政府は道路工事を以て農村救済に最も適合したものと觀察したに外ならない、言はゞ政府は道路事業に全力を擧げてゐるのであ

る、併し其の趣旨は自動車の發達からして其の機能を山間部落に及ぼしたのであるから、其の趣旨に反するやうな事業は捨てゝも可い、山本内相が議會で説明されたやうに恒久的事業を執行することにあるのだ前號に路政僧が、「六十四議會を覗いて」の下に筆した、政府對議會の質問應答を參酌されて所期の効果を擧げて貰ひたいものだ

△陽春四月、自然の勢で來月號は編輯期日を守ることにしやう。

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
發行兼編輯者 小島 效
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武